

かならず専門業者のかたが施工を行ってください。

裏面はお客さまへの取扱説明書となっております。
必ずお客さまに取扱いの説明を行っていただき、この説明書をお渡しの上、保管をお願いしてください。

安全に関するご注意

～施工者のかたへ～

ケガや事故防止のため、
以下のことを必ずお守りください。

警告

本器はAC100～242Vです。
他の電源は入力しないでください。
火災・故障の原因となります。

適合電線を使用し、各端子は確実にしめつけてください。
指定外電線の使用や不十分な結線は機器の異常
発熱・火災の原因となり危険です。

指定のLEDカラー演出照明器具専用です。
他の器具は接続しないでください。

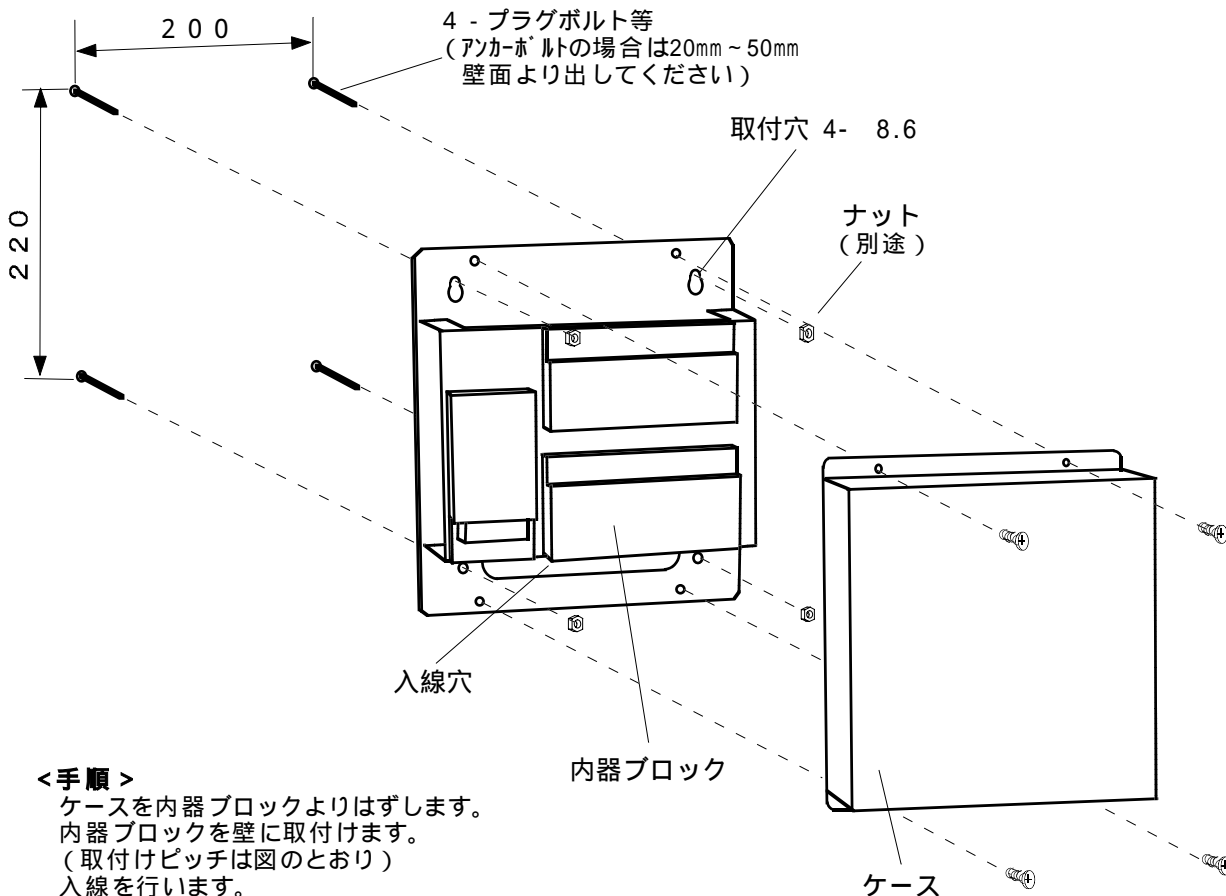
湿気の多い場所に取り付けしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

誤結線や負荷を短絡させないようご注意ください。
異常発熱や火災・故障の原因となります。

分解・改造をしないでください。
異常発熱や火災・故障などの原因となります。

電源を入れたまま配線工事をしないでください。
異常発熱や火災・故障の原因となります。

必ず壁面に取り付けてください。
側面の通風孔を塞がないでください。
異常発熱や火災・故障などの原因となります。



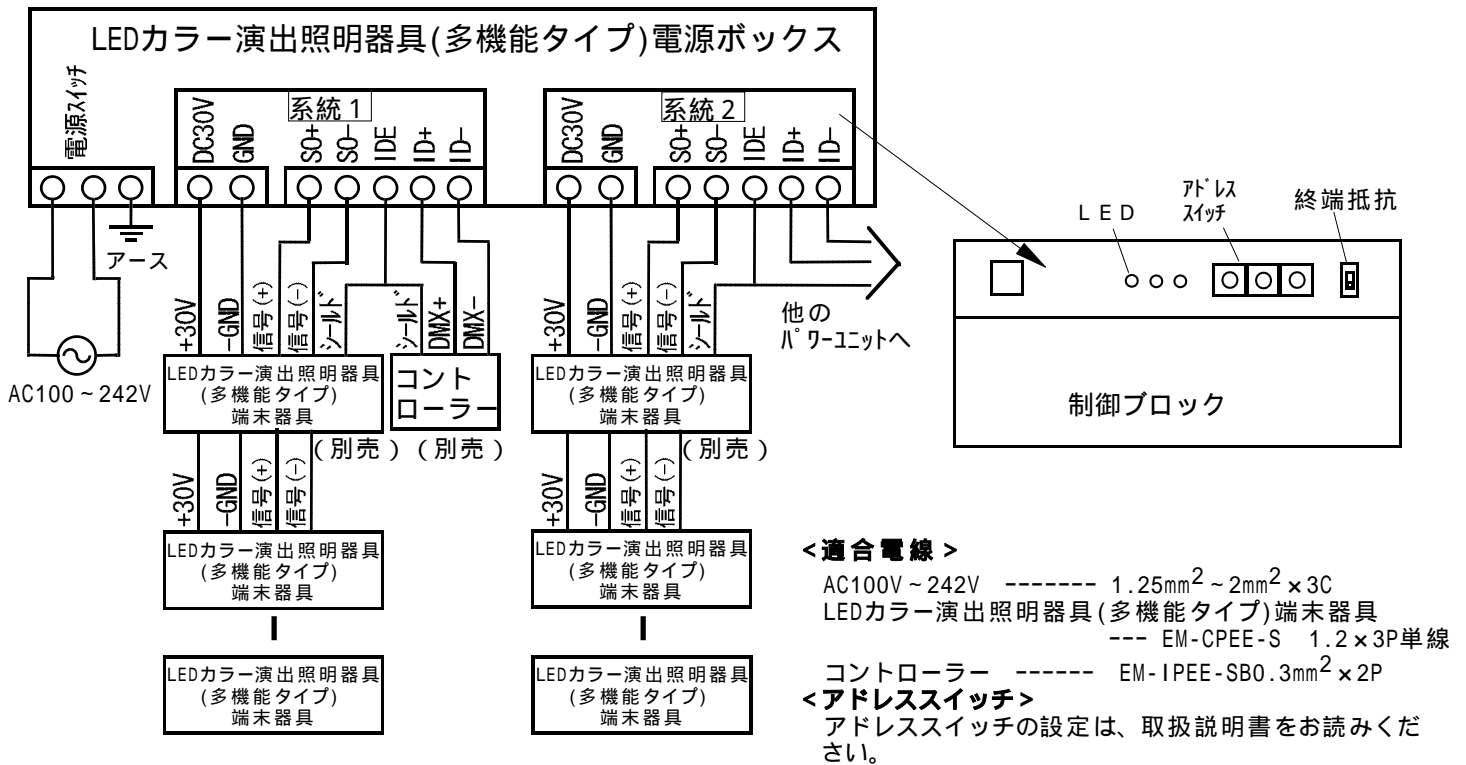
<手順>

- ケースを内器ブロックよりはずします。
- 内器ブロックを壁に取り付けます。
(取付けピッチは図のとおり)
- 入線を行います。
- ケースを取付けます。

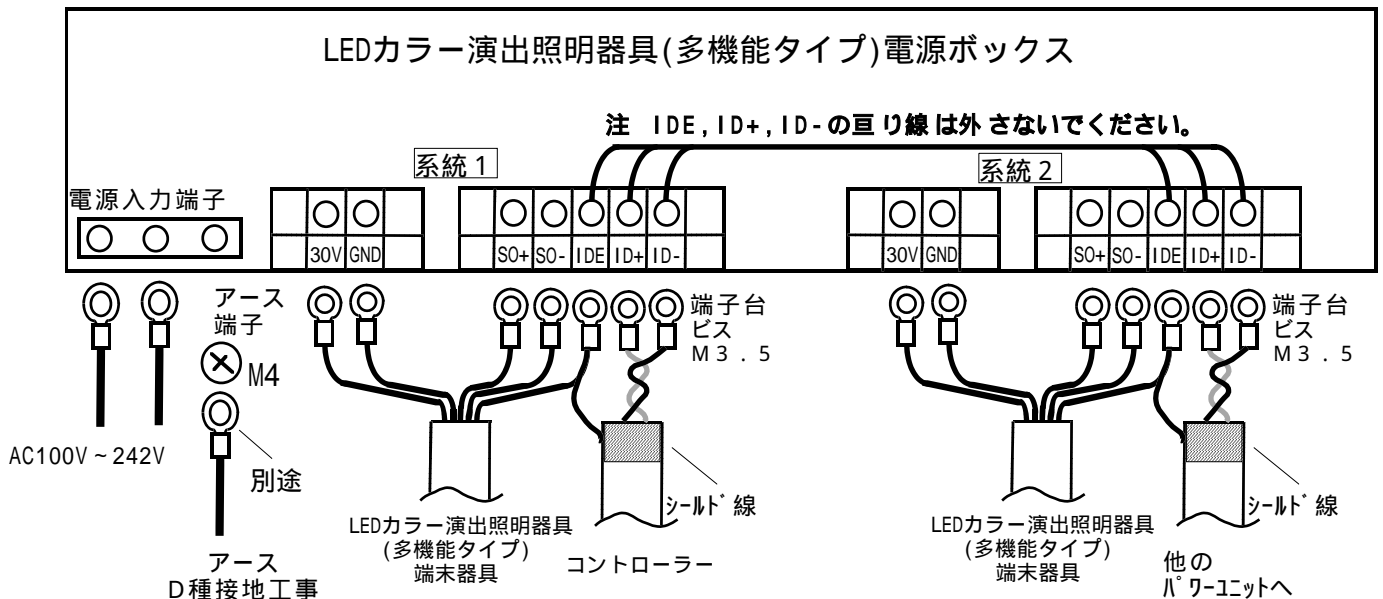
<注意>

- 器具の重さは約5kgあります。この重さに耐えられるところに取付けてください。
- ボルト・ナットは確実に締め付けてください。
- 工事の際の鉄クズやホコリを取り除いてください。

【結線図】



【端子台接続】



<終端抵抗>

電源ボックスが1台のシステムの場合、上側の制御ブロックの終端抵抗を"ON"にしてください。
 電源ボックスが複数台のシステムの場合、コントローラーから最も遠い電源ボックス1台のみ、その電源ボックス内の上側の制御ブロックの終端抵抗を"ON"にしてください。
 その他の電源ボックス内の制御ブロックの終端抵抗は"OFF"のままです。

<注意>

各端子は、ピス及びボルトを確実に締め付けてください。
 LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の施工は、必ずLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の施工説明書をお読みください。
 施工後必ず端子台カバーを取付けてください。
 各電線には引っ張り等の荷重のかからないように処理してください。
 シールド線は必ず制御ブロックに接続してください。

<最大配線長・接続台数>

LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)電源ボックスとLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具との最大配線長・接続台数は、端末器具図面をご参照ください。

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくため、この説明書をよくお読みください。
またお読みになったあとも大切に保管してください。

安全に関するご注意

～お客さまへ～ ケガや事故防止のため、
以下のことを必ずお守りください。

警告

本器のケースを濡れた手でさわったり、
本器に水をかけたりしないでください。
感電や火災・故障の原因となります。

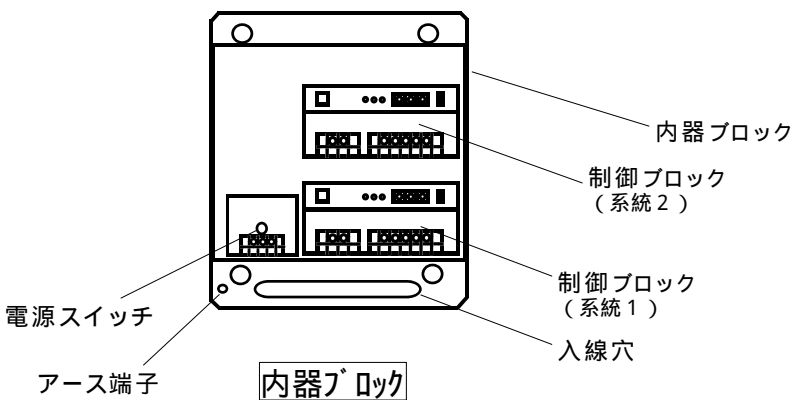
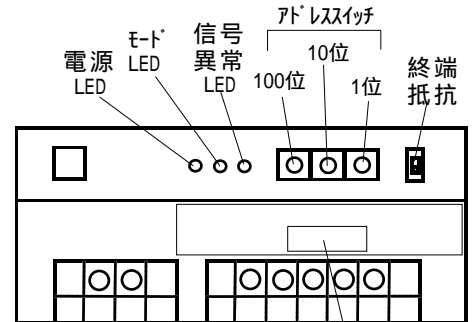
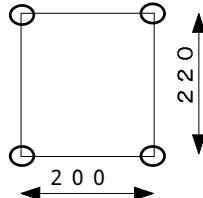
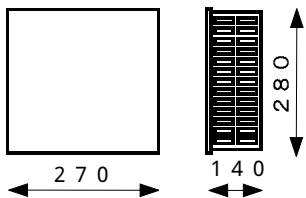
改造しないでください。
専門技術者以外は、カバーを外さないでください。
火災・故障の原因となります。

【仕様】

定格入力電圧	AC100V～242V、50/60Hz共用
定格電力	350W～340W
定格出力電圧	DC30V
定格出力電流	5.05A×2系統
入力信号形式	DMX512
出力信号形式	LEDカラー演出制御信号
コントローラー	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)コントローラー
適合器具(負荷)	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具
使用環境	温度0～35、湿度35%～85%

【外観】

【取付けピッチ】



アドレススイッチ

制御ブロック

< LEDについて >

* LEDの点灯は下表によります。

電源LED(緑)	通電時点灯
モードLED(緑)	点滅 **1
信号異常LED(赤)	DMX信号異常時点灯

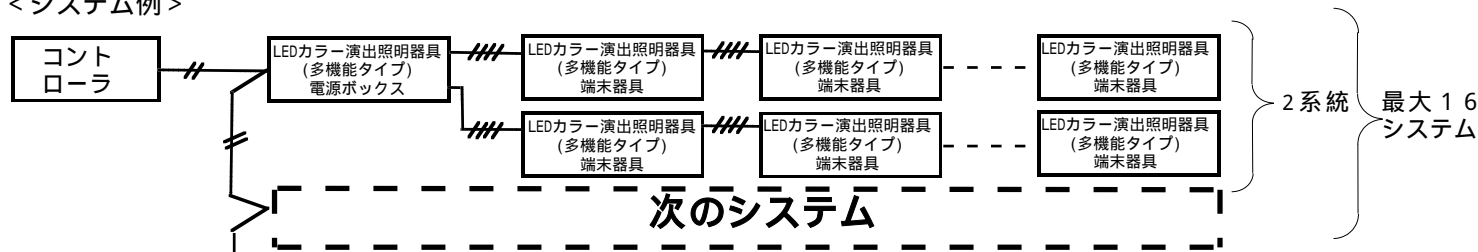
< **1 モードLEDの点滅周期 >

*モードLEDの点灯周期は下表によります。

通常モード	約1秒に1回点滅(1Hz)
チェックモード	約1秒に2回点滅(2Hz)
工場用テストモード	約1秒に4回点滅(4Hz)

【システムについて】

<システム例>



* 本システムは、コントローラから送信されるDMX 5 1 2信号により、LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具を制御し、カラー演出を行うシステムです。

* LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は赤、緑、青の3原色を点灯させることができます。各色に1チャンネルのデータが必要です。

LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具を制御するのに3チャンネル分(3色分)のデータが必要となります。

* データは0~255の256段階あり、LEDの照度もデータにしたがい256段階の変化をさせることが可能です。

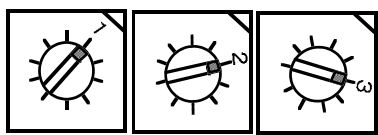
但し、LEDの特性上低照度時にレベル変化させた場合や、高照度時でもあくレベル変化させた場合には、照度変化がなめらかに見えない場合がありますのでご注意ください。

* このシステムでLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)電源ボックスは、DMX 5 1 2信号をコントローラより受信し、設定された任意のアドレス(チャンネル)を先頭としたデータをLEDカラー演出制御信号に変換します。

【取り扱い方法】

1. アドレス設定

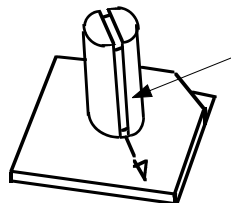
* アドレス設定は、アドレススイッチ3個(3桁分)を設定しておこないます。



- ・アドレススイッチのつまみ部を手でつまむか、小さなマイナスドライバーで廻して設定してください。
- ・左図は、123 に設定した例です。
- ・アドレス設定後、アドレス記入位置(ラベルの枠内)にアドレスを記入してください。

・制御する3つのデータの「先頭アドレス m」に512を加算した値「m+512」を設定すれば、全器具同色変換となります。但し、変換できる範囲は「001~477」チャンネルです。(設定範囲は513~989)

* アドレス設定を 000 にすると、001 として動作します。



* 切り込みがつまみ部の先端から根元まである方が番号を表します。左図は 4 を表しています。

2. 電源投入

- ・結線を確認し、電源スイッチを「入」にして電源を投入します。
- ・電源LEDの点灯、モードLEDの点滅(1Hz)を確認してください。信号異常LEDの消灯を確認してください。

【チェックモードによるLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の点灯の確認方法】

* 下記の方法でチェックモードにすれば、コントローラがない場合でも、LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の点灯を確認できます。

1. アドレスを「000~989」に設定します。
2. 電源を投入します。
 - ・電源LEDの点灯、モードLEDの点滅(1Hz)を確認してください。信号異常LEDはDMX信号が無い場合は点灯しますが、正常にDMX信号があれば消灯しています。
3. アドレスを「990~999」に設定すれば、チェックモードになります。このときモードLEDは2Hzで点滅します。設定したアドレスとLEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具の点灯は下表によります。

990、995~999	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は全器具全色フル点灯(白っぽい色)
991	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は全器具赤色フル点灯
992	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は全器具緑色フル点灯
993	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は全器具青色フル点灯
994	LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具は1台目赤色・2台目緑色・3台目青色…赤・緑・青の順にフル点灯を連続する

4. ご使用のアドレスに設定を戻します。
 - ・モードLEDが1Hzで点滅します。通常モードに戻りました。
 - * 点灯確認が終わったあとは、必ずご使用のアドレスに設定を戻してください。

【本器のLED点灯状態が異常な場合】

1. 電源LEDが点灯しない…電源が入っていません。配線を確認してください。
2. モードLEDが点滅しない…基板が故障している可能性があります。営業所に連絡願います。モードLEDが4Hzで点滅している…工場用テストモードになっています。ご使用のアドレスに設定し電源を再投入してください。
3. 信号異常LEDが点灯・点滅している…操作器からの信号が異常です。配線の確認・操作器の確認をしてください。

【LEDカラー演出照明器具(多機能タイプ)端末器具が正しく点灯しない場合】

1. チェックモードで正常に点灯した場合…アドレスの設定が間違っている可能性があります。再度確認してください。
2. チェックモードで点灯しなかった場合…結線間違いの可能性がありますが。再度確認してください。